

JRCA 2012年第7回理事会 議事録

2012年10月4日（木）／文京シビックセンター 4階会議室A

出席者：長瀬、中原、新井、勝田、小田切、中島、佐藤、伊吹、河野、奥村、立久井、若槻、中村、多比羅、武井、石城、富田、齊藤、伊藤

1：前回議事録の確認（2012年8月7日開催第6回理事会）

承認された。

2：8～9月の収支報告：事務局及び監査

齊藤監査役より、この2か月の動きに関して、問題なかった旨の報告が行われた。

前回指摘があったサーバーに関する費用について事務局ウェブ担当より報告があった。他のサーバーと比較検討を進めてきて絞り込みが行われ、費用およびサーバー操作の工数等をさらに精査することとし、決定は事務局に一任された。

3：第6戦丹後半島ラリー&第7戦ラリー北海道の報告：かかわった理事全員

丹後半島ラリーに関しては、コース&ロケーションとも良好だった。市内各所にポスターが貼られており、ギャラリーへの告知の努力が感じられた。しかし、実際のギャラリー動員は全日本初開催ということもあってかそれほどでもなかった。今年これまで理事会で論じられてきたとおり、JRCAとして何らかのサポートができるよう検討することとなった。

ラリー北海道に関しては、トラブルはいくつか発生したものの、全体を通じては、参加者の「世間に見られている意識」がまだ足りないように感じられた。

4：2013年の規則改訂について

規則の変更点についてはピックアップしてホームページに掲載することとなった。

「SAFETY PLAN & MANUAL 作成ガイド」と「指示ツール・タイムカード・標識類・統一フォーム、運用の手引」を作成し直すこととなった。制作にあたっては、座長は小田切理事、サポートとして佐藤理事と事務局がつくこととなった。

5：JRCA組織内の意思決定から告知までの流れについて

現在議事録が公開されておらず、議事録承認までのプロセスも時間がかかっていると

の指摘があった。これを受け、理事会終了後1週間で議事録を作成しメールにより理事のチェックを行い、会員にはメール配信を行い、ホームページで公開することとなった。

6：2013年に向けて映像ツールを使った広報の検討

来年度に向けて、映像を使ったラリーのプロモーションの充実を図る方策を検討していくこととなった。

7：JRCA アワードの選定

最終戦・新城ラリー終了後に候補者と選考理由を募り、次回理事会で決定することとなった。

8：モントレーへの提案について

長瀬会長と新井副会長がモントレーの組織委員長と会談することとなった。

9：上半期予算と実績

事務局のチェック漏れにより協賛金の未収分が発覚し、再請求することとなった。

来季に向け各部会等で予算を検討開始し、年内に概算を事務局に伝えることとなった。

10：その他

スーパー耐久などは年間エントリーをすると2割引きとなるが、全日本ラリーでこうしたことは可能かどうかという提案があり、検討していくこととなった。

10月20～21日にお台場で行われるモータースポーツジャパンについて河野理事より提案があり、ラリーブース開設をしてもらえることとなり、ガイドブック500部を配布することとなった。

11：次回会議予定

11月13日（火）18時より、文京シビックセンター地下1階学習室にて開催。